

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-0791
施設名 キッズタウンにしおおい
施設所在地 東京都品川区西大井2-5-21
法人名 社会福祉法人こうほうえん

1. 活動のテーマ

自然【これなんだろう？】

<テーマの設定理由>

当園は、桜の木や銀杏の木、紫陽花など緑豊かな自然に囲まれている。身近な自然環境の特色を活かして子どもの興味・発見を受け止めながら成長に繋がるよう、様々な角度から子ども達の育ちを見守っている。2歳児の子ども達は、虫探しが大好き！園庭ではアリやダンゴムシ、幼虫探しを夢中とする姿があり、シャベルとバケツを持って土を掘っている子ども達。「これはなんだろう？」と保育者に聞きながら、日々さまざまなことを発見している子ども達の姿を見て、このテーマを設定した。

2. 活動のスケジュール

地域の公園への探索活動（10月～3月にかけて/1日につき約40分、週1回程度）

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

自然探しを目的に地域の公園へ探索活動に出かけた。

秋頃から自然物に興味を示したり、遊びの中で「これはなに？」と興味を示すことが増えた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

穴があると覗きたくなる子ども達。「せんせいあながあいてる！」と樹木の幹にポツカリとあいたウロ（樹洞）を発見した子ども。何の穴だろう？と保育者が問うと、そこへ興味を示したお友達が次々に集まってきてワクワクしながらみんなで穴を覗き込んで考えています。「リスがいるかな？」「もぐらかな？」と大盛り上がり。「ちかくにいるんじゃない？」と辺りを見回す子も。結果は何もないただの穴でしたが、子ども達は「たぶんおさんぽにいてるんだとおもう！」「こんどきたときはいるかもよ！」と次への期待に繋がっていました。



振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもの「これはなに？」という疑問に対して、保育者がすぐに答えを出すのではなく、「なんだとおもう？」と更に問うことで、子どもの自由な表現力や発想が次々に浮かび上がっていた。普段一人遊びが多い子どもも、友達がいる輪に入ったり、子ども同士の会話が弾む様子も見られていた。そして、「今日は見られなかったけど、次は見られるかもしれない！」という期待を持つ姿も見られ、思考を継続する力にも繋がったと感じる。